

額堂

額堂には、ご信徒からの奉納物がある建物である。奉納物には、護身との祈りや願いが記された板、絵馬(馬の絵などが描かれている)などが掲げられている。かつては生きた馬が奉納されていた。のちに馬を描いた額が、実際の馬の代わりに捧げられるようになった。

新勝寺には今まで額堂が二つ建てられた。現在あるのは、1861年に建立された2代目の建物である。前の額堂は1965年に焼失した。最初の額堂に掲げられていた重要な絵馬の多くは、貴重な文化財として霊光館で保存されている。有名な歌舞伎役者である七代目市川團十郎(1791-1859)の石像は、火災のあとも同じ場所に残っている。七代目市川團十郎は1821年に、成田山に初代の額堂を寄進した人物である